

ごみ減量 ひと工夫

市民の皆さんからのアイデアをご紹介します

昨年7月から12月までの間、市で「にしとうきょう環境チャレンジ」を行いました。そこで市民の皆さんからいただいた「ごみ減量アイデア」をご紹介します。

すぐできる 大きな削減

生ごみの水切りのアイデア



お茶の葉やコーヒーは、不要になった豆腐の入れ物に入れて乾かしてから出す。

可燃ごみとして処理される食品類や生ごみ(残飯や調理くずなど)は、水分を多く含むものがあり、焼却処理に負担となります。生ごみの水切り対策は、一度の減量効果としては微量でも、日常的に排出されるごみの中で総量が大きいため、減量対策に取り組むことで軽くなり、処理費用を減らせます。



野菜は、ヘタなどを取ったり、皮を向いてから水洗いする。(捨てる部分が濡れないようにする。)

【ペットボトル水切り器】作り方と使い方

- ① カッターを使い、ペットボトルを飲み口から8cm位のところでカットする
- ② 切り口をビニールテープで保護する
- ③ 生ごみを集めた袋の口を飲み口に通して、しっかり押し付けて水を切る



小さいビニール袋に生ごみを入れ、ビニール袋の口を下に向け水を絞る。または、ビニール袋の角を切り、上から押し付けることで水を切る。



料理をする時にすぐに実践できるごみ削減アイデア

- 冬が旬の大根の皮を千切りにして密閉できるポリ袋に入れ、ポン酢と浸けておくだけで、ポリポリ食感のおいしい漬け物になる
- 人参やごぼうなど、皮ごと調理できるものはよく洗って一緒に食べる(皮の近くに栄養素が多いために、健康にも良いそうです)
- 小松菜などの根元は土をよく落として一緒に調理する(よく火が通ると柔らかくておいしいそうです)
- 安いタイミングで沢山買ってしまったキノコは、ほくして冷凍保存する(冷凍することにより、栄養価や旨味が増すそうです)

お子さんにお勧めの図書

「かんからかん」
(西東京市図書館で所蔵)

「わたしがぼくがちきゅうのためにできる10のこと」
(エコプラザ西東京で所蔵)

※ 2冊とも廃刊となっています。借りる場合は、事前に各施設にお問い合わせください。

おもちゃを買うときの工夫

- 中古の物を買う
- 新品を買う場合、木製や過剰包装されていないサステイナブルな物を買う



困っています!!

プラスチック容器包装類の混入物

プラスチック容器包装類の正しい分別にご協力をお願いします。



月曜・火曜日に収集されたプラスチック容器包装類から毎週のように混入しているペットボトル。



混入していた電池内蔵型小型家電・小型充電式電池。プラスチック容器包装類を資源化処理する際に火災の原因になります。



プラスチック容器包装類の資源化には、その引き取りに対し、厳しい基準があります。電池類・ライター・刃物類等は絶対に混入してはいけないものになりますのでご注意ください。